

プログラム

6月3日(土)		会場:九州国立博物館 ミュージアムホール
12:30~	受付 シンポジウム 13:00~17:30 「ミュージアム・ドキュメンテーションの新時代 新しい風は、いつだって、西から吹いて来る」	
13:00	開会挨拶 九州国立博物館 / アート・ドキュメンテーション学会	
13:20	[第20回講演会] 基調講演 東昇(九州国立博物館 研究員)、道脇寿満(福岡県企画振興部 高度情報政策課 企画主幹) 「九州国立博物館の情報とミュージアム・ドキュメンテーション」	
14:10	[第49回研究会] 竹内有理(長崎歴史文化博物館 教育・研究グループリーダー) 「指定管理者制度の中のミュージアム・ドキュメンテーション」	
14:40	村田良二(東京国立博物館 研究員) 「東京国立博物館のあらたなミュージアム・ドキュメンテーション」	
15:10	高野明彦(国立情報学研究所 教授・連想情報学研究開発センター所長) 「文化遺産オンラインの目指す情報発信」	
15:40	休憩(20分)	
16:00	パネルディスカッション モデレータ:八重樫純樹(静岡大学情報学部 教授) パネリスト:東昇、道脇寿満、竹内有理、村田良二、高野明彦	
17:20	閉会挨拶 アート・ドキュメンテーション学会	
17:30	終了	
18:00	懇親会 会場:うくいす茶屋 会費:一般5,000円、学生4,000円 <a href="http://www011.upp.so-net.ne.jp/uguisu/index.html">http://www011.upp.so-net.ne.jp/uguisu/index.html</a>	

6月4日(日) 会場:九州国立博物館 研修室

9:30~	受付	
9:50	[第50回研究会] 9:50~11:55 植野健造(石橋財団石橋美術館 主任学芸員) 「日本近代美術史研究と新聞記事資料」	
10:15	土屋伸夫(筑波大学大学院 博士課程 人間総合科学研究科 芸術学専攻) 「芸術支援学から見たデザインギャラリー銀座・松屋での企画展に関する一考察」	
10:40	福田博同(跡見学園女子大学文学部) 「美術シソーラスの形成とデータの世代交代について」	
11:05	川口雅子(国立西洋美術館) 「国立西洋美術館におけるコレクション・マネジメント・システムの構築」	
11:30	三嶋章浩、斎藤伸雄、秋元良仁(凸版印刷株式会社) 「収蔵品管理ASPシステムの試作と試行結果」	
11:55	休憩(15分)	
12:10	[第17回総会] 12:10~13:00 JADS会員のみ 開始	
13:00	休憩(60分)	
14:00	[第36回見学会] 14:00~15:30 集合 研修室 九州国立博物館 図書室・書庫・情報処理室	
15:30	終了	

6月5日(月)

10:00	オプション・ツアー 年次大会は3日・4日の日程ですが、遠方より九州へ来られた方をはじめ、この機会に長崎まで足をのばしてみたいという方々のために、オプション・ツアーとして、指定管理者制度導入の中で2005年に開館した長崎歴史文化博物館と長崎県美術館への見学を企画しております。	
15:30	集合 長崎歴史文化博物館ロビー 長崎歴史文化博物館、長崎県美術館 視察 散会	

# 第17回 (2006年度)

2006年6月  
3日(土)  
4日(日)

6月3日(土)  
13:00~17:30  
シンポジウム  
第20回講演会  
第49回研究会

6月4日(日)  
9:50~15:30  
第50回研究会  
第17回総会  
第39回見学会

6月5日(月)  
オプション・ツアー  
長崎歴史文化博物館  
長崎県美術館

参加費:無料  
ただし資料代を  
1,000円とさせて頂  
いていただきます。

アート・ドキュメンテーション学会  
年次大会のご案内

## 公開シンポジウム ミュージアム・ドキュメンテーションの新時代 新しい風は、いつだって、西から吹いて来る

# JADS

「もの」を持つこと、博物館・美術館=ミュージアムは、この一点からすべての使命が始まります。すなわち、何を持つのかの確認を始点として、持つものを台帳化し記録して、収蔵保管保存しながら、公開展示して、「もの」が歴史と文化をいまに伝えていくことを雄弁、明確に示していく。今日、機能においてもサービスにおいても、ミュージアムに見られる多様性もまた、この一点から始まり、無縁ではありません。この使命の始点にあるところの「もの」の記録化をミュージアム・ドキュメンテーションと呼ぶならば、ミュージアムのすべての仕事は、この活動から始まることでしょう。多くのミュージアムはこの活動を営々と積み重ねて、今日に至っているはずですが、かつ、一つひとつのミュージアムの壁を越えて、「もの」の記録とデータは、ひろく共有されることを願っています。すでにその願いに向けて多くの試みと議論、成果と挫折があったことは、多くの方々の知るところです。そして今また、ミュージアム・ドキュメンテーションをめぐる、あらたな冒険が始まろうとしています。このシンポジウムは、百年を経て誕生した新たな4番目の国立博物館である九州国立博物館において、その冒険をめぐって、九州国立博物館と長崎歴史文化博物館、東京国立博物館、文化遺産オンラインの拠点である国立情報学研究所のキーパーソンが熟く語る場となることでしょう。今また、新しい風は、いつだって、西から吹いて来る、に違いありません。

会場:九州国立博物館 [西鉄太宰府線太宰府駅下車徒歩10分]  
<http://www.kyuhaku.com/pr/index.html>

参加申込:  
どなたでも参加できます  
シンポジウム、懇親会、研究会(2日目)、見学会、オプション・ツアーの出欠と、氏名、所属、連絡先を明記の上、5月末日までにFAXまたはE-mailで下記までお願いいたします。  
またJADSホームページでもお申込みができます。 <http://wwwsoc.nii.ac.jp/jads/>

連絡先:  
〒180-8566 東京都武蔵野市吉祥寺東町3-3-7 武蔵野美術大学造形学部通信教育課程研究室内  
アート・ドキュメンテーション学会  
Tel: 0422-22-8582  
Fax: 0422-22-4438  
E-mail: [ldt02307@nifty.ne.jp](mailto:ldt02307@nifty.ne.jp)

主催:アート・ドキュメンテーション学会 Japan Art Documentation Society  
九州国立博物館